ろうさい病院つうしん

発行所：中部ろうさい病院　〒455-8530 名古屋市港区港明１-10-6　TEL：052-652-5511
http://www.chubuh.johas.go.jp/　FAX：052-653-3533

患者さんにやさしい医療サービスを目指して

中央放射線部長　金子　壽和

日頃より当院の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。連携医療機関の皆様の益々のご発展を祈願いたします。

2019年10月より新MRI装置、「SIEMENS MAGNETOM Aera」が稼働しております。

ご利用いただくにあたり7項目の装置メリットのご案内です。

１．小型化　２．低騒音　３．高磁場均一性（True Form）
４．金属アーチファクト低減　５．SNRの向上
６．ASL（Arterial spin labeling）　７．高時間分解能

画質と撮像スピードが大幅に向上し、取り外し可能な“Dockable Table”が採用され最新技術により「患者さんにやさしい」工夫が多数されています。

MRIにおいてはC@RNAによる「平日、土日曜日のMRI検査」インターネット予約が可能となっています。（勤労者医療の推進）

※インターネットに接続できるパソコンとプリンターがあれば診察、検査予約を取得することができます。

2018年11月より乳房X線撮影装置「AMULET Innovality」も新しく更新し高精細な画像となり、微小病変の発見もしやすく、被ばく線量は従来の1/3程度まで低減されています。

また、今までの（2D）だけでなくトモシンセシス（3D）、バイオプシー（生検）等と検査種の幅が広がりました。

※乳房X線検査は女性放射線技師（検診マンモグラフィ認定技師）のみで行っています。

中部ろうさい病院では、医療放射線の安全確保のため「装置管理、施設管理、従事者管理」も併せて実施しています。

受診される地域の患者さんのために「より安全、安心な明るい医療」を考え、良質な医療サービス、医療安全、放射線安全管理の実践に取り組んでいます。

今後とも、スタッフ一同より良い医療画像を提供し、土日運用も含め共同利用しやすい環境を整えてまいります。引き続きご支援ご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

慢性腎障害（CKD）への取り組みについて

腎臓内科副部長　村井　由香里

いつも多くの患者さんをご紹介くださり誠にありがとうございます。また、当院からの患者さんの診療依頼についてもお受けいただきありがとうございます。今後とも引き続きご紹介いただけますようお願い申し上げます。

このたび中部ろうさい病院腎臓内科における慢性腎不全への取組についてご紹介させていただきます。

当院では年に１回腎臓病教室を行い、患者さん向けに講義を行っております。腎臓の働き、慢性腎障害（CKD）の合併症、腎臓病における薬剤注意、減塩や蛋白制限などの食事の注意点、腎代替療法について、多職種で分担して説明させていただいています。2019年は10月に腎臓病教室を開き約80名の方にお集まりいただきました。60歳以上の方が8割を占めており、ご高齢の患者さんが多いことはこの地域だけでなく全国的な傾向であると思います。

２時間半の講義を２日にわたって行い、長丁場でしたが皆様真剣に聞いてくださいました。「塩分制限をしようと思った」「診察時にもらう検査値一覧が少し理解できた」「透析のしくみ、腹膜透析の存在を知った」など前向きな感想も数多く頂いております。

また、当院では腎不全の保存期治療と同時に残腎機能が低下した患者さんへの腎代替療法にも力を入れております。血液透析のみに偏らず、腹膜透析や腎移植についても、適応を患者さんと十分に相談しながら患者さんが満足できる腎代替療法を提案できるよう努めております。

2019年実績は、血液透析導入30例、腹膜透析導入４例、腹膜透析カテーテル留置術10例でした。

患者さん方への説明の場として、腎臓病教室のほか、教育入院や、看護師が中心となり１時間程かけて個別指導を行うCKD外来も行っております。仕事をお持ちの方も参加しやすく、個別性に応じた指導や説明が可能です。

医師、看護師、栄養士、薬剤師など多職種が協力して、患者さんが治療のイメージを持ち、主体的に治療に取り組めるようサポートを行っております。

現在多くの腎不全の患者さんを開業医の先生の外来で診療していただいていると存じます。栄養や腎臓病指導を外来で行わせて頂くこともできますので、ぜひ一度当院外来や腎臓病教室へもご紹介頂けますと幸いです。

治療と就労の両立支援について

よろず相談室内両立支援相談窓口

日頃より当院の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

今回はこの場をお借りして、当院で行っている治療と就労の両立支援をご紹介させていただきます。

昨今、少子高齢化社会が進む中で経済の活性化と福祉の充実を目標に「一億総活躍社会」の実現に向け、病気の治療をしながら就労を継続できる社会の構築が必要と謳われてきました。

患者さんは、治療と就労を両立する中で様々な不安や心配ごとに直面しています。「入院が必要と言われたけど、まとまった休みを取れるだろうか」、「仕事を休んだら、生活費や医療費はどうしたらいいのか」、「病気のことを上司や同僚、誰にどこまで話すべきか」、「病気のことを話したら、解雇されないだろうか」、「復職しても今まで通り働けるだろうか」…等々。

こうした相談に、当院では両立支援コーディネーター（医療ソーシャルワーカー）が相談に対応しています。経済的な相談に対しては社会保障制度の紹介を行い、仕事の休みの取り方については、事業場の就業規則を確認し、治療スケジュールに沿って、休みの取り方を検討しています。復職や両立方法の検討に際し、主治医、患者さん、両立支援コーディネーターの３者で患者さんの職業や職場環境を踏まえた働き方を検討しています。そこで検討された内容を、職場に提出する意見書に具体的に記載し、お渡ししています。

平成30年度の診療報酬改定より、「療養・就労両立支援指導料」が新設され、がん患者のみが算定対象となっていましたが、令和２年度の診療報酬改定では、「脳卒中、肝疾患及び指定難病」が追加となりました。また産業医が選任されていない中小企業の労働者への支援も算定対象となるよう、基準が緩和されます。

当院としましても、事業場産業医の先生方とスムーズな連携が図れるよう、分かりやすい意見書の作成を行い、お気軽に「働き方」をご相談いただけるよう取り組んで参りたいと考えております。

開業医の先生方におかれましては、日々の診療の中で、患者さんから治療と就労の両立に関する相談がございましたら、よろず相談室内両立支援相談窓口へお気軽にご相談ください。

地域医療連携室だより

～中部ろうさい病院病診連携システム運営協議会を開催いたしました～

去る２月１日（土）に地域医療支援病院として、年１回地域の先生方との連携システムに関する運営について検討する協議会を上前津のローズコートホテルにて開催いたしました。名古屋市医師会の担当理事をはじめ、運営委員の先生方にご出席いただき、令和元年度の当院の紹介実績や取組事項などを報告し、ご意見を頂戴いたしました。お忙しいところご出席いただいた先生方におかれましては、心よりお礼を申し上げます。

～中部ろうさい病院冬季病診連携セミナーを開催いたしました～

令和元年度冬季病診連携セミナーを２月１日（土）に、ローズコートホテルにて開催いたしました。今回のセミナーでは、中川　誠　呼吸器外科部長により「呼吸器外科手術の変遷～モニター視全盛時代にいかに安全性を担保するか～」とういう演題にて講演を行い、連携医療機関の先生方の多数のご出席をいただきました。また、セミナー終了後、同時開催の、病診連携システム運営協議会にご出席いただいた先生方との意見交換会を開催しました。日頃、お世話になっている連携医療機関の先生方と、当院の診療科医師、スタッフとの顔がみえる中での意見交換会では、さまざまなご意見を頂戴いたしました。

次回は夏期に病診連携セミナーを開催予定です。先生方の多数のご参加をお待ちしています。

医師交代

☆退　職
（令和元年12月31日付け）
柴田　寛幸　　消化器内科医師
大野　　司　　心臓血管外科医師

☆採　用
（令和２年３月１日付け）
三輪　晴香　　専攻医

☆補　職
（令和２年１月１日付け）
開田　剛史　　第二麻酔科部長
渡邊　友恵　　リハビリテーション科副部長
町野　麻美　　麻酔科副部長
森　康一郎　　麻酔科副部長

当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- 医療の質の向上と安全管理の徹底
- 生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- 人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- 地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- 災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

☎地域医療連携室　（平日　8：15～19：30）
052－652－5950（TEL）
052－652－5716（FAX）

室　　長：坂口　憲史（副院長）
課　　長：藤田　実
事務担当：小林　伸弘・内藤　遵子・金井　久実